

President's message

RI 会長メッセージ

ロータリアンならびにロータリー家族の皆さま、115周年おめでとうございます。

1905年以降、世界は大きく変わっています。当時、世界の人口は約17億。現在は77億です。115年前、アメリカの電話の普及率は、100人で5台。2020年には、アメリカ人の96%が携帯電話を持っているといわれています。中国でもインドでも、10億台を超える携帯電話が使われています。

ロータリー創立以来115年の間で、あらゆることが変化してきたように思われますが、ロータリーの理念は変わることがありません。今も昔も、私たちロータリーは、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップを保ち続けます。「超我の奉仕」という標語自体は1911年に掲げられたものですが、その理念はすでにロータリー創始者たちが打ち出していたものでした。

世界中で変化のスピードが速まっていく中、ロータリーの奉仕への需要はますます高まっています。奉仕プロジェクトについて記事で読むのと、実際の活動やプロジェクトで恩恵を受けた人々の感謝に満ちた顔を目の当たりにするのでは、受ける感銘が全く違います。ロータリーのプロジェクトは、人々の暮らしを変え、世界をつなげます。そして、この1年間で素晴らしいプロジェクトが実施されたのを私は見てきました。

昨年、私は妻のガイと福島県を訪れました。2011年3月に福島を襲った地震・津波・原発事故という大惨事は、世界でも類を見ません。しかし今日の福島で見られるのは、悲劇の物語ではなく、希望と再生の物語です。ロータリーの補助金により被災者は医療と精神医療ケアが受けやすくなり、震災を乗り越えた他国の人々の体験を分かち合うことで孤独が癒やされます。また、補助金は地域全体にわたって自発的な取り組みと持続可能な長期的地域復興を促しています。

上海では、Careers in Care というプログラムについて学びました。高齢者の介護施設で必要とされる熟練専門家の不足を補うため、移民労働者の研修を支援するものです。プログラムを受講すると修了証が発行され、研修生の就職率は高くなり、就労可能な人材が増加することで、介護業界も恩恵を受けます。このようなロータリープロジェクトは、地元のニーズに応え、長期にわたって効果を出し続けられるよう、地方自治体からも補助金を引き出せる力があるからこそ成功するのです。

また、グアテマラでは妻、ガイと一緒にサンパンゴ村を訪れました。この村ではグローバル補助金のおかげで豆乳製造機、配水管網の改修、浄水器、清潔なコンポスト（バイオ）トイレ、家庭菜園、収入創出の支援、WASH（水と衛生プログラム）の研修、識字率向上プログラムが提供されました。ここで売られる食品は女性や子どもにとって栄養源となるだけでなく、地元女性の収入源ともなります。

全ての重点分野で、ロータリープロジェクトは世界中のあらゆる地域で、人々の暮らしを向上させ、地域が変化のスピードに適応する手助けをしています。この一年もロータリーにとって有意義なものとなったことを祝うとともに、ロータリーの奉仕がこれほどの成果を上げている理由である「つながり」を深めることに、再び全力を傾けようではありませんか。ロータリーは世界をつなぎながら、人々の暮らしを向上させていくのです。



MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー（RI）会長

原文（英語）はこちらから

ロータリーの友 
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



全ての重点分野で、ロータリープロジェクトは世界中のあらゆる地域で、人々の暮らしを向上させ、地域が変化のスピードに適応する手助けをしています。

グアテマラのサンパンゴ村で、寄贈された機械を使って豆乳を作る人。グアテマラでは多くの子どもが乳糖不耐症で、豆乳は牛乳の代用品になります。